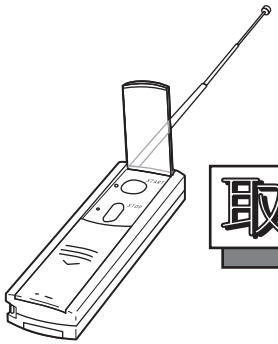
株式会社 エフ イー ティー

ターボタイマ機能付リモコンエンジンスターター

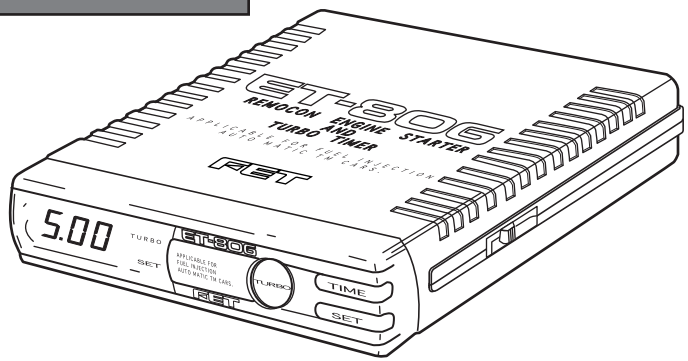
ET-806

REMOCON ENGINE STARTER
&
TURBO TIMER



RCR特定小電力認定品

取扱説明書



このたびは、ＥＴ－８０６をお買い上げ頂き、誠に有難うございました。
本製品をご使用の前に、取扱説明書をよくお読みになり、取扱手順に従い操作下さい。

この取扱説明書は保証書にもなっていますので車検証とともに大切に保管下さい

この取扱説明書の示されている注意事項を十分に理解されるまで取付作業は、行なわないで下さい。

正しく安全にご使用頂くために
1　使用前のご注意
2　取付上のご注意
3　取扱上のご注意
（テストモード／リモコンスタータ／ターボタイマ）に分類し明記しています。

安全上の定義

取扱説明書では、取付作業、取扱の安全上の定義について下記マークで示しています。
取付、取扱いの参考にして作業、操作を行って下さい。

警警告 警告を無視した取扱いをすると、使用者やまわりの人が死亡や重傷を負う場合があるもの。

注注意 法律に違反する恐れのあるもの、製品、車輌を損傷故障させる恐れがあるもの。

参参考 取扱いにおいて知っていると有益な知識。

もくじ

ET-806の特長、構成部品と名称 … 1
1．使用前のご注意(適応車種について) … 2
2．取付上のご注意 … 3
取付概略図 … 4
取付方法
1　アース線
2　コネクティングＫＩＴ
3　サイドブレーキ線
4　フットブレーキ線 … 5
5　ボンネットスイッチ
6　受信アンテナ
7　エアコン線
8　オルタネータ線 … 6
テストモード 1 … 7
テストモード 2 … 8
3．取扱上のご注意 … 9～11
リモコンスタータとしての使い方 … 11～12
ターボタイマとしての使い方 … 13
各種エラー内容、仕様 … 14

ご使用について

ET-806の特長

●リモコンスタータにターボタイマ機能がついています。
●取付は車種別専用ハーネス《別売り(￥1,200~)ＦＥＴ製コネクティング
ＫＩＴ》で簡単に取付けられます。
●本体数字表示部に、アフターアイドリング時間、エラーコードを表示します。

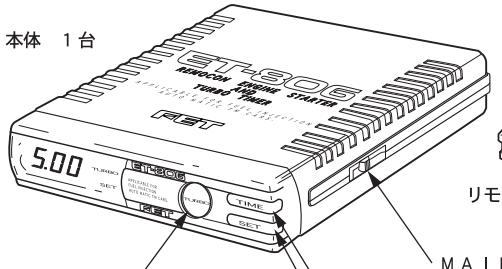
■リモコンスタータ機能
・ＲＣＲ標準規格適合特定小電力無線式
・小型受信アンテナ
・リモコン、ＳＴＡＲＴ、ＳＴＯＰスイッチ付
・オートマチック判別回路内臓
(パーキング配線をする必要がありません)
・アフターアイドリング時間変更可能
(１分単位で２０分まで変更が可能です)
・クランク時間、リトライ　ステップアップ方式
(1回目で始動出来なかった場合に、クランク時間を
０．５ 秒延長して2回まで再始動します)
・始動検出回路内臓
(ディーゼル全車、一部車種を除き、オルタネータの配線をする
必要がありません)
・サイドブレーキ安全回路
(サイドブレーキを戻すとアフターアイドリングを緊急停止します)
・フットブレーキ安全回路
(フットブレーキを踏むとアフターアイドリングを緊急停止します)
・ボンネットスイッチ
(ボンネットレバーを引くとアフターアイドリングを緊急停止します)

■ターボタイマ
・アフターアイドリング時間変更可能
(１分単位で２０分まで変更が可能です)

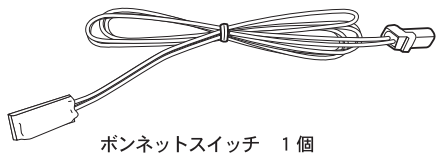
構成部品と名称

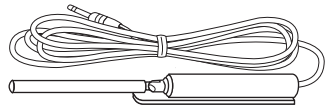
取付には、別売り(￥1.200~)の車種別専用ハーネスの
ＦＥＴ製コネクティングＫＩＴが必要です。

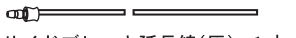
部品の確認をして下さい

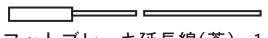


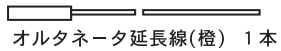
本体　１台
リモコン　１台
ボタン電池　３個
(CR1616)
＊工場出荷時に挿入されています。
ＭＡＩＮスイッチ
ＴＩＭＥスイッチ
ＳＥＴスイッチ
ＴＵＲＢＯスイッチ

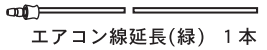

ボンネットスイッチ　１個

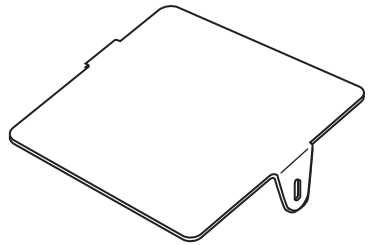

受信アンテナ　１個


サイドブレーキ延長線(灰)　１本


フットブレーキ延長線(茶)　１本


オルタネータ延長線(橙)　１本


エアコン線延長(緑)　１本

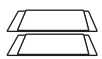

取付金具　１個

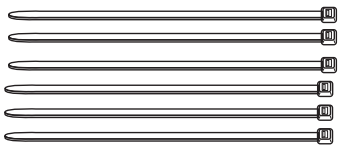
ビス　2個

ワンタッチコネクタ(赤)　3個

ワンタッチコネクタ(青)　１個

コードクランプ　5個


両面テープ　2枚


結束バンド　6本

取扱説明書　１冊

１．使用前のご注意

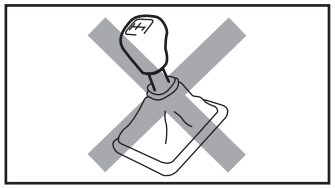
適応車種　：　国産12Vシフトロック付オートマチック、インジェクション車

適応車種について

取付不可能車

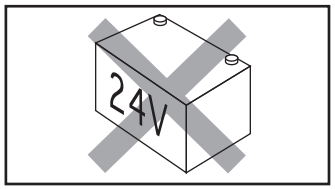
警告　マニュアルミッション車への取付は出来ません。

シフトロック付オートマチック専用です。



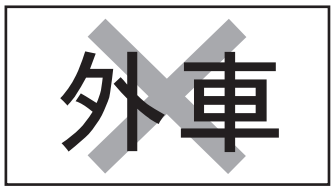
警告　２４Ｖ車への取付は出来ません。

１２Ｖ車専用です。



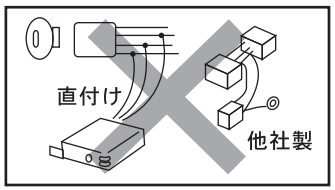
警告　外国車への取付は出来ません。

国産車専用です。



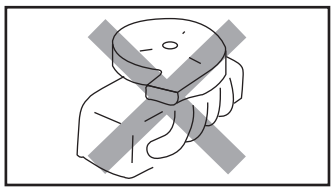
警告　直接配線や、他社製ハーネスでの取付は出来ません。

ＦＥＴ製コネクティングＫＩＴ専用です。

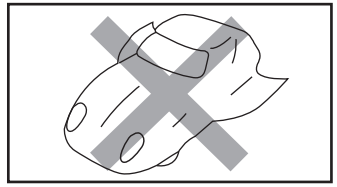


警告　キャブレタ車への取付は出来ません。

インジェクション車専用です。
（但し、天候その他の状況変化で、
始動性が悪くなる車は取付は出来ません）

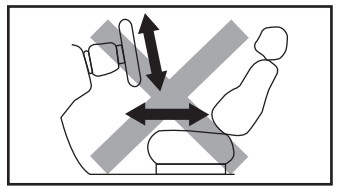


注　ＦＥＴ適応表以降の車に取付る場合は、必ず販売店、又はＦＥＴ営業所、ＦＥＴタイマー相談室までお問合せ下さい。

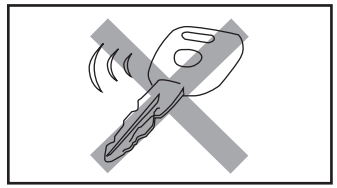


車両側の変更がある場合、製品破損や車輌を損傷させる場合があります。

参　オートチルトハンドル、オートパワーシート装着車はターボタイマが終了してもオート機能が働きません。



参　リモコンドアロック装着車は、アフターアイドリング中にリモコンドアロック機能が働かない場合があります。
　キーで、ドアを開閉下さい。



参　日産オートマチック車で、キーロックシステムが装着されている場合、ターボタイマを使用した時、アフターアイドリング中にエンジンキーが抜けないため、別売り(￥3.600)のＦＥＴ製キーロックリレーアダプタを併用して下さい。

詳しい内容は、販売店にあるＦＥＴ適応表でご確認下さい。

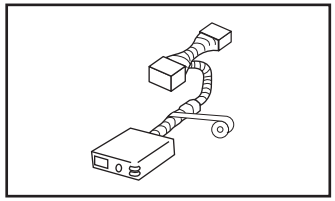
詳しい適応車種につきましては、販売店にある
『ＦＥＴターボタイマー／エンジンスターター適応表』
をご確認下さい。

2．取付上のご注意

取付について

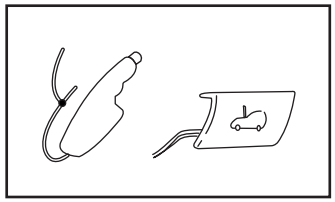
警 コネクティングＫＩＴの配線の取り回しは、車輌のアース（金属）部分をさけ、絶縁テープを巻き付けて、しっかりと束ねて金属部分に電線がショートしない様にして下さい。

火災や車輌事故発生の恐れがあります。



警 サイドブレーキ、ボンネットスイッチの配線は確実に行ない、取付た時に安全装置が働いている事を確認して下さい。

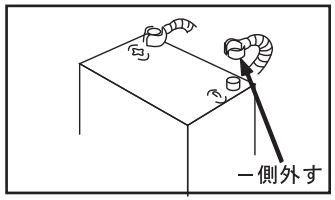
事故発生の恐れがあります。



注 取付前はバッテリ㊀端子を外して取付作業を行なって下さい。

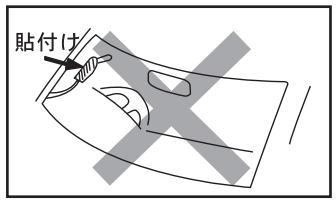
故障や電気ショートの原因になります。

（作業終了後、ラジオのチューニングを行なって下さい。）



注 受信アンテナをフロントガラスに直接貼付ける事や、運転上の視界の妨げになる付近には取付ないで下さい。

法令違反や事故発生の原因になります。



注 エアバック装着車に取付る場合、エアバック関連の部品に影響を与えない様注意して下さい。

事故発生の恐れがあります。

詳しい適応車種につきましては、販売店にある
『ＦＥＴターボタイマー／エンジンスターター適応表』
をご確認下さい。

参 ディーゼル車は必ず、６ページのオルタネータ線の配線を行って下さい。
冷寒時にバッテリ電圧の変動が少ないため、リモコンスタータが始動不良になり、正常に使用出来ない場合があります。

ディーゼル車以外でも上記内容になる場合は配線をして下さい。

参

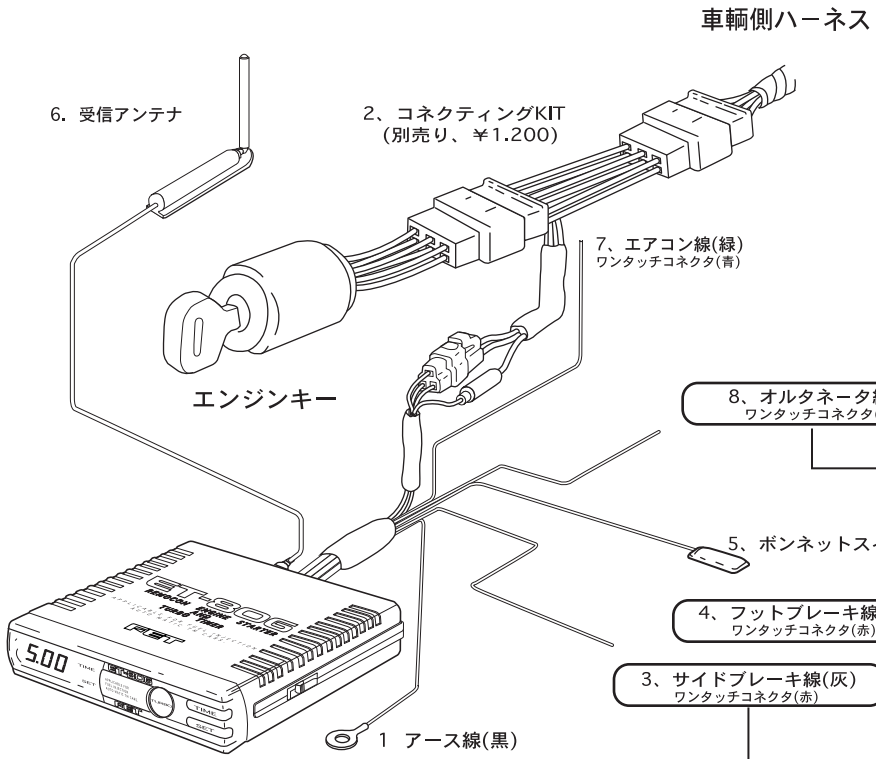
トヨタ	オートエアコン装着全車	６ページのエアコン線の配線をして下さい。
マツダ	ユーノス８００、アンフィニＲＸ－７	
日　産	キャラバン／ホーミー	

※　上記車種以外でも、アフターアイドリング中にエアコンが働かない場合は配線をして下さい。

参 日産オートマチック車で、キーロックシステムが装着されている場合、ターボタイマを使用した時、アフターアイドリング中にエンジンキーが抜けないため、別売り（￥3,600）のＦＥＴ製キーロックリレーアダプタを併用して下さい。

詳しい内容は、販売店にあるＦＥＴ適応表でご確認下さい。

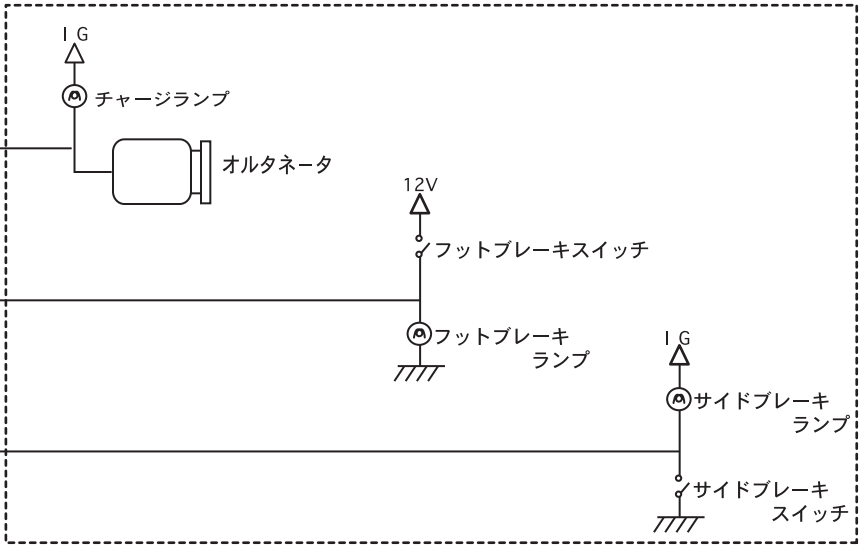
取付概略図



配線色内容

配線色	配　線　内　容	備　　考	
赤	常時電源線　（１２Ｖ）	コネクティングＫＩＴ	電源線関係
白	スタータ線　（Ｓ　Ｔ）		
黄	イグニション線（ＩＧ１）		
青	イグニション線（ＩＧ２）		
緑	エアコン線	接続はワンタッチコネクタ(青)を使用	
黒	アース線		
灰	サイドブレーキ線	接続はワンタッチコネクタ(赤)を使用	安全装置
茶	フットブレーキ線	接続はワンタッチコネクタ(赤)を使用	
黒	ボンネットスイッチ		
橙	オルタネータ線	接続はワンタッチコネクタ(赤)を使用	
黒	受信アンテナ		

車輌結線内容



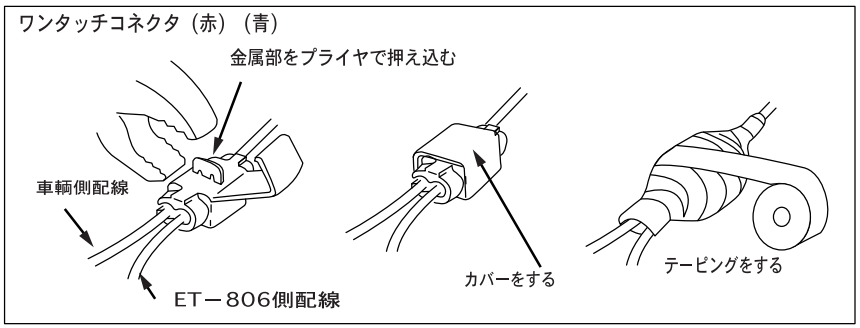
注　ＦＥＴ製コネクティングＫＩＴは、販売店にあるＦＥＴ適応表を確認の上、ご使用下さい。

適応年式以降の新型車やマイナーチェンジ車で、コネクタ形状は同じであるが、配列が異なるために、車輌電装品を破損させる場合があります。

必ず、販売店、ＦＥＴ各営業所、または、ＦＥＴタイマー相談室までお問合せ下さい。

ＦＥＴタイマー相談室　☎(0795)63-4099

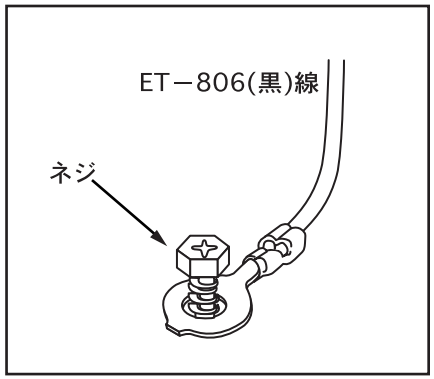
ワンタッチコネクタの使い方



取付方法

1. アース線の接続方法

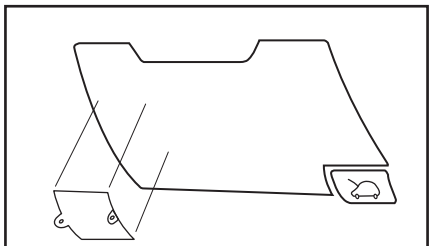
（黒線）



参 車体金属部分に付いているネジに、しっかりと固定して下さい。

取付金具の使い方

参 取付位置が曲面の場合、取付金具を曲面に合わせ、両面テープで貼付け下さい。



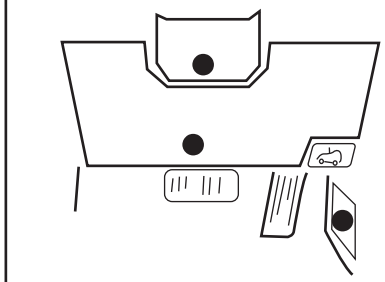
アンダーカバーの曲面に
合わせて曲げ、貼付ける。

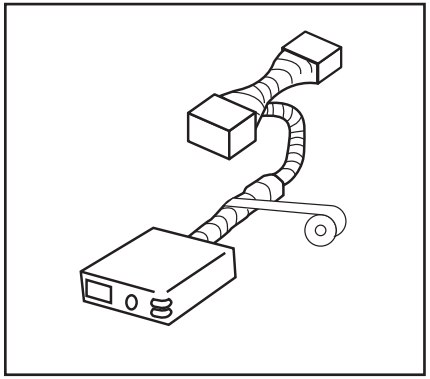
2. コネクティングＫＩＴの接続方法

（別売り　￥1,200～）

取付位置の例

●印付近にキーコネクタが存在します





警 適応表に無い車種への取付や直接配線は絶対にしないで下さい。

警 取付後は車輌金属部分への接触がないよう、テーピングして下さい。
　また、走行中に接触しないように結束して下さい。

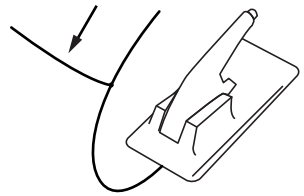
2. サイドブレーキ線の接続方法

（灰線）

車輌サイドブレーキ線の探し方

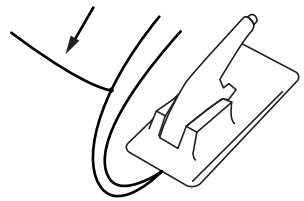
（車輌サイドブレーキ線が1本の場合）

ＥＴ－８０６(灰)線



（車輌サイドブレーキ線が２本の場合）

ＥＴ－８０６(灰)線



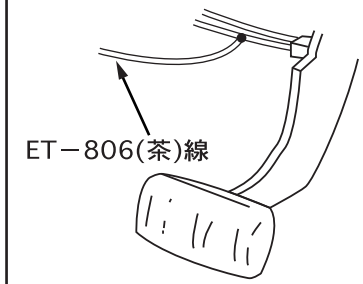
参 エンジンキーがＯＮの位置で、サイドブレーキを
　引いてる時に　０Ｖ
　下ろした時に　12V
になる線にワンタッチコネクタで接続して下さい。

参 キック式ブレーキの場合も同じ内容で接続して下さい。

4. フットブレーキ線の接続方法

（茶色線）

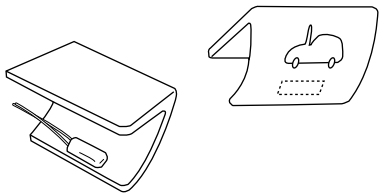
テストモード1で Err の場合のみ配線して下さい。



参 フットブレーキの上方にあるコネクタの配線でブレーキを踏んだときに12Vになる線にワンタッチコネクタで接続して下さい。

注 金属部分に噛みこまないよう、また、配線が運転の妨げにならないように結束して下さい。

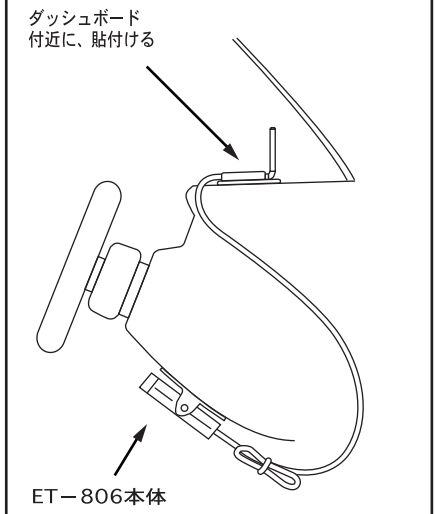
6. ボンネットスイッチの接続方法



ボンネットレバー裏面の指の
引っかかる所に貼付ける。

注 金属部分に噛みこまないよう、また、配線が運転の妨げにならぬよう結束して下さい。

6. 受信アンテナの接続方法



注 フロントガラスに直接貼付けないで下さい。

注 運転上の視界の妨げにならない位置に貼付け下さい。

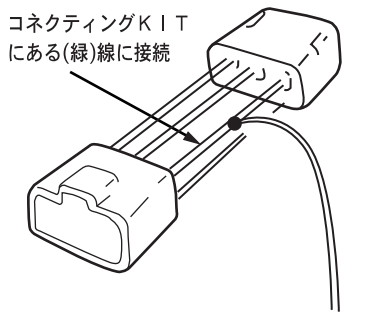
参 垂直にたてて下さい。

参 コードを束ねる場合は、本体の近くで束ねて下さい。

7. エアコン線の接続方法

(緑線)

アフターアイドリング中にエアコンが働かない場合に配線が必要です。



参 コネクティングＫＩＴの配線にＥＴ－８０６の緑線をワンタッチコネクタで接続して下さい。

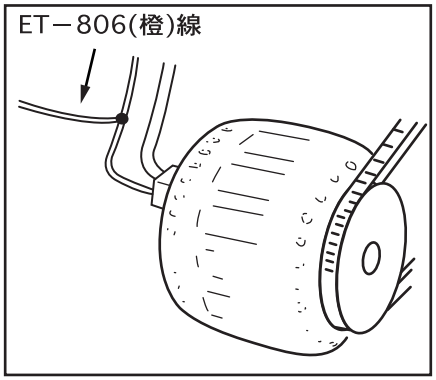
参 トヨタ　オートエアコン装着車
マツダ　ユーノス800
アンフィニ RX－7
日　産　キャラバン／ホーミー

上記、車種以外でも、アフターアイドリング中にエアコンが働かない場合に配線をして下さい

8. オルタネータ線の接続方法

(橙線)

ディーゼル全車、その他一部でエンジンスタータが始動不良の場合に配線が必要です。



参 エンジンルーム内のオルタネータから出ている細い線で

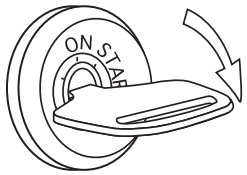
エンジンキーON時に　1V
始動時に　12V
} になる線にワンタッチコネクタで接続して下さい。

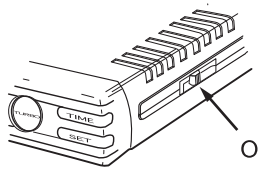
取付について

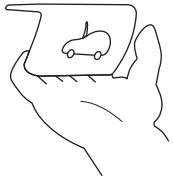
テストモード１

参
・テストモードを終了しないと、リモコンスタータは使用出来ません。
・ＭＡＩＮスイッチをＯＦＦからＯＮにした場合、必ず、“テストモード１“の操作を行って下さい。
・テストモードは、オートマチック車であることを確認する“オートマチック判別回路“です。

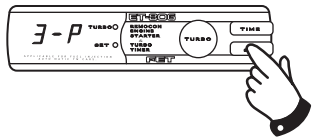
ここまで６０秒以内に終了しないと E-1 エラーになります。

1	エンジンを始動させる
操作	
表示	
	表示していません

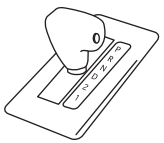
2	ＭＡＩＮスイッチ　ＯＮ
操作	
表示	⇨ 1--
	1 --を表示します

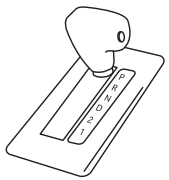
3	ボンネットレバーを引く
操作	
表示	1-- ⇨ 2--
	2 -- を表示します

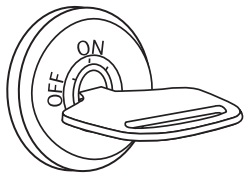
※ボンネットが開く事を確認。
(テストモード終了後、ボンネットを閉めて下さい)

4	ＳＥＴスイッチを３秒間押す
操作	
表示	2-- ⇨ 3-- ⇨ 3-P
	3 -- を１秒間表示し 3 -P を表示します

※サイドブレーキをかけ、フットブレーキをしっかり踏んで下さい。

5	シフトをＤレンジにする
操作	
表示	3-P⇨3-d⇨ End
	3-d を５秒間表示し End を表示します
	3-d を表示しない場合は 約１０秒後に Err を表示します

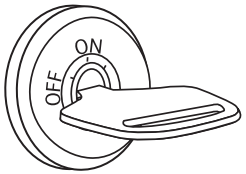
6	シフトをＰレンジにする
操作	
表示	End
	End 表示のままです

7	エンジンを停止させる
操作	
表示	End ⇨
	表示が消えます

リモコンスターターが使用出来ます

※フットブレーキをはなして下さい。

シフトをＰレンジにする

	エンジンを停止させる
操作	
表示	Err ⇨
	表示が消えます ８ページ　テストモード２ の操作を行なって下さい。

取扱について

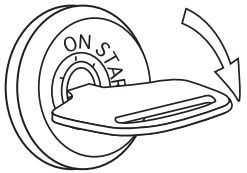
テストモード２

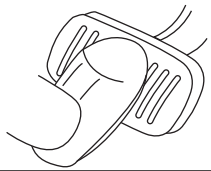
参

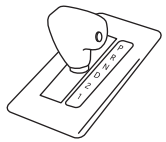
・テストモード１、オートマチック車で、　　表示になった場合に操作して下さい。

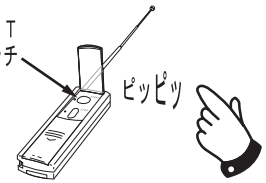
・５ページの『４、フットブレーキ線』の配線が必要です。確実に配線されていることを確認して下さい。

ここまで６０秒以内に終了しないと E-1 エラーになります。

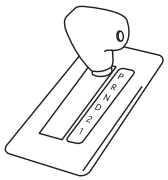
1	エンジンを始動させる
操作	
表示	⇨ Err
	Err を表示します

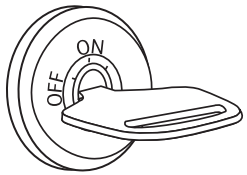
2	フットブレーキを踏む
操作	
表示	Err⇨ 4 - -
	4 - - を表示します

3	シフトをDレンジにする
操作	
表示	4 - -
	4 - - 表示のままです

4	ＳＥＴスイッチを３秒間押す
操作	
表示	4 -- ⇨ 5 -- ⇨ End
	5 -- を一瞬表示し End を表示します

※サイドブレーキをしっかりかけて下さい。

5	シフトをPレンジにする
操作	
表示	End
	End 表示のままです

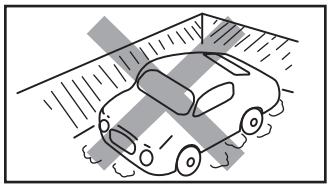
6	エンジンを停止させる	リモコンスターターが使用出来ます
操作		
表示	End ⇨	
	表示が消えます	

※フットブレーキをはなして下さい。

3．取扱上のご注意

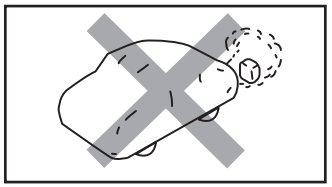
警告 密閉された場所で使用しないで下さい。

排気ガスが充満し、大変危険です。



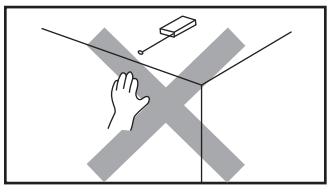
警告 車にボディカバーをかけたままや、車の近くに燃えやすい物がある場合は使用しないで下さい。

火災発生の恐れがあります。



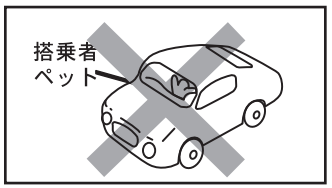
警告 リモコンはお子様の手の届く場所には、置かないで下さい。

誤った操作で事故発生の恐れがあります。



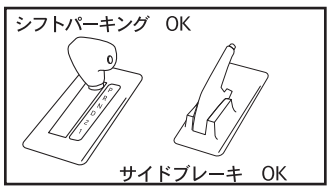
警告 搭乗者やペットを車内に残したままで、使用しないで下さい。

思わぬ発進事故が起こる恐れがあります。



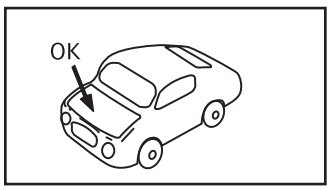
警告 ご使用前に、必ずシフトレバーをパーキング位置にし、サイドブレーキをしっかりかけ、車が動かないことを確認して下さい。

思わぬ発進事故が起こる恐れがあります。



警告 エンジン始動の際は、必ずボンネットが閉まっていることを確認して下さい。

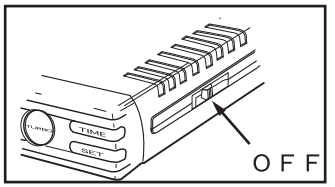
事故発生の恐れがあります。



警告 車を他人に預ける場合や整備される場合は、本体横のＭＡＩＮスイッチをOFFにして下さい。

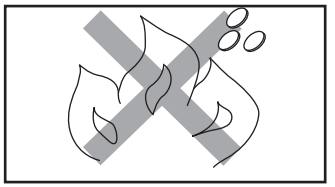
また、リモコンの電池を抜いて下さい。

事故発生の恐れがあります。

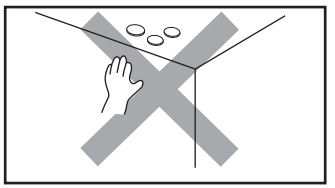


警告 ボタン電池は、火中に投げ入れないで下さい。

爆発する恐れがあります。

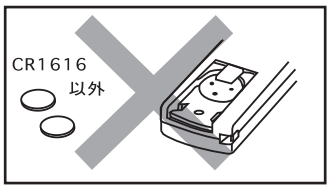


警告 ボタン電池は、お子様の手の届く場所には、置かないで下さい。　万一、電池を飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談して下さい。



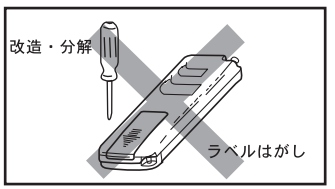
警告 ボタン電池は指定(CR1616)の電池以外は使用しないで下さい。

リモコンが故障する場合があります。



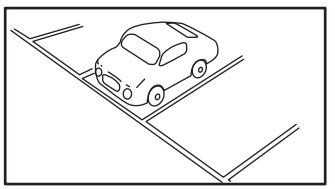
注意 ＥＴ－８０６は郵政認可、特定小電力の技術基準適合証明を受けており、リモコンの分解、改造，証明ラベルをはがさないで下さい。

法律違反になり罰せられる場合があります。

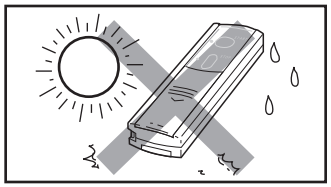


注意 アフターアイドリングする場合、必ず換気のよい駐車場、私有地内でご使用下さい。

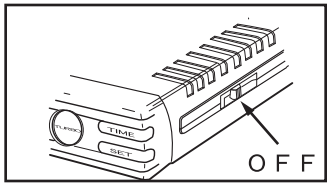
公道での使用は法令違反になります。



注 リモコンは水濡れ、落下、長時間の直射日光や暖房器具の近くに放置しないで下さい。
リモコンは防水されていません。
故障の原因になります。

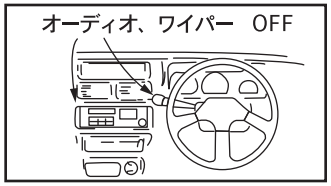


注 本体を車から取り外す場合やバッテリー交換の際は、必ず本体横のＭＡＩＮスイッチをＯＦＦにして下さい。
本体が故障する場合があります。

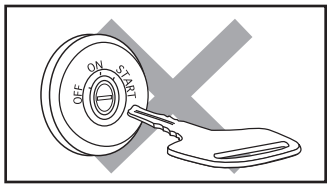


注 ご使用の前にワイパー、オーディオ関係の電源は、必ずＯＦＦにしていて下さい。

車輌電装機器が故障する場合があります。



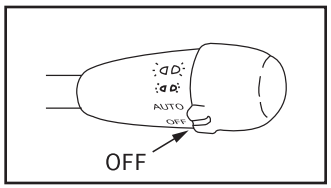
注 アフターアイドリング中にエンジンキーは差し込まないで下さい。
(一旦、リモコンでストップして下さい。)
思わぬ発進事故をする恐れがあります。



注 海外では使用しないで下さい。

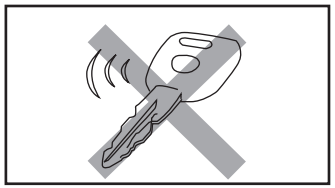
法令違反になり罰せられる場合があります。

注 純正オートライト装着者は、必ずライトスイッチをＯＦＦにして，ご使用下さい。
ライトが消灯せず、バッテリ上がりを起こす場合があります。

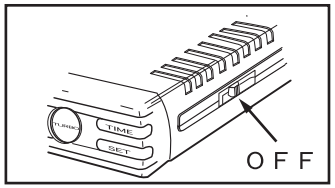


注 走行中の本体のスイッチ操作はおやめ下さい。
前方不注意による事故発生の恐れがあります。

参 リモコンドアロック装着車は、アフターアイドリング中にリモコンドアロック機能が働かない場合があります。
キーで、ドアを開閉下さい。



参 ＥＴ－８０６はバッテリ保護のスリープモード機能が内蔵されていますが、一週間以上、ご使用にならない場合は、本体横のＭＡＩＮスイッチをＯＦＦにして下さい。



参 ＭＡＩＮスイッチをＯＦＦにした場合、全てのメモリが消去されます。
再度、ご使用の場合は、テストモードから操作して下さい。

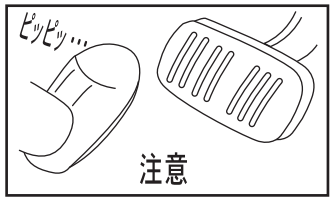
参 ＥＴ－８０６の電波到達距離は、見通しの良い所で200～300mです。
車輌との間に建築物や障害物がある場合は、電波到達距離が短くなります。

参 リモコンと本体は、1対1でペアになっています。
リモコンを破損や紛失し、修理、又は交換する場合は、本体ごとお預かりすることになります。
有償になります。(￥22.000－)

参 本体が正常に動作しない場合、リモコンもお預かりし、点検する場合もあります。ご了承下さい。
詳しい内容は、ＦＥＴタイマー相談室までお問合せ下さい。

☎ (0795) 63- 4099

参 フットブレーキ配線をしている場合、アフターアイドリング中にフットブレーキを踏めばエンジン停止します。
　ターボタイマをご使用の場合、エンジンキーをＯＦＦする前や降車の際にフットブレーキを踏まない様にご注意下さい。



参 軽4輪車で、ターボタイマでアフターアイドリングする前にエンジンが止まってしまう場合があります。
　アクセルをふかし、エンジン回転数を上げてからエンジンを切って下さい。

参 ターボタイマは、エンジンをかけ、5秒以上経過しないとアフターアイドリングしません。

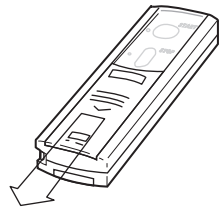
取扱について

リモコンスタータとしての使い方

テストモードを終了しないとリモコンスタータは使用出来ません。

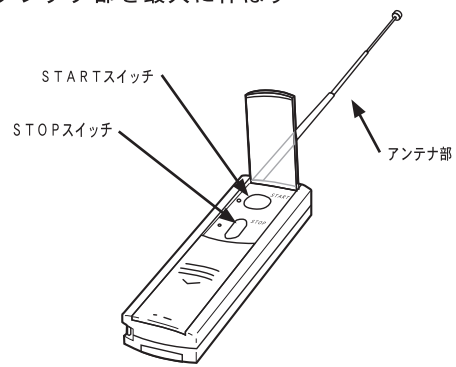
スタート/ストップのしかた

※ＳＴＡＲＴ、ＳＴＯＰスイッチを連続して押す場合は、5秒以上時間をあけてから操作して下さい。



スライド部を押しながら矢印方向へ引く

アンテナ部を最大に伸ばす

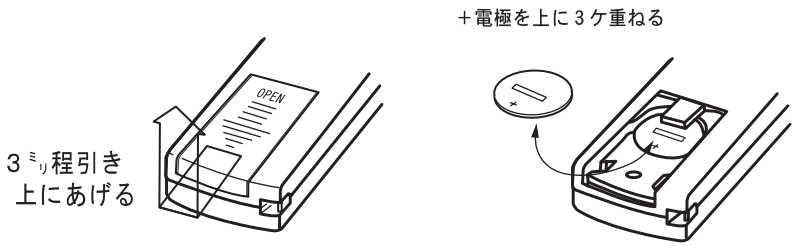


リモコンスタートさせる場合
ＳＴＡＲＴスイッチを1秒以上押す。
リモコンストップさせる場合
ＳＴＯＰスイッチを1秒以上押す。

警
『3.取扱上のご注意』を守り、ご使用下さい。

電池の交換のしかた

（使用電池：リチウムＣＲ１６１６　３個）



参 電池の寿命は、使用頻度により異なりますが約１年です。
参 交換のめやすは、リモコン操作時にブザー音が鳴り続けた時です。

参

取付後、始めてリモコンスタータをご使用になる前に…

－各種、安全回路が働くことを確認して下さい－

・ボンネットレバーを引いた時　：　E - 2　表示

リモコンＳＴＡＲＴを受付ない事

（ボンネットを閉め、ＳＥＴスイッチを3秒間押す。）

・サイドブレーキを解除した時　：　E - 3　表示

アフターアイドリングが緊急停止

※フットブレーキ配線をしている場合

・フットブレーキを踏んだ時　：　E - 3　表示

アフターアイドリングが緊急停止

※シフトレバーが動く場合

・Ｄレンジにした時　：　E - 4　表示

アフターアイドリングが緊急停止

参

アフターアイドリング時間について

・工場出荷時は、10分間で設定されています。

・リモコンＳＴＡＲＴ操作で、10分間のアフターアイドリングをします。

・10分経過後、自動的にエンジンが停止します。

・アフターアイドリング中に、リモコンＳＴＯＰ操作で途中停止します。

・アフターアイドリング時間は、１分単位で20分まで設定が可能です。

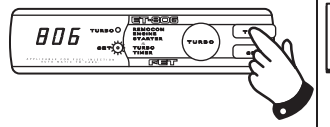
アイドリング時間の変更方法

注 走行中のスイッチ操作はおやめ下さい。
前方不注意による事故発生の恐れがあります。

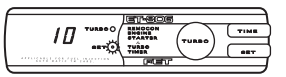
エンジンを始動させ、本体を表示させて下さい。

（806表示状態）

ＴＩＭＥスイッチを押す



10分を表示

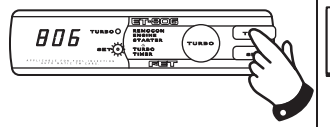


・アイドリング時間を表示します。
（上図、10分の場合）
・２秒間表示後、806 に戻ります。

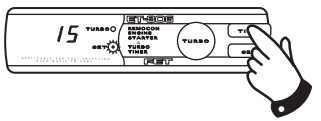
《例えば、10分のアイドリング時間を15分に変更する場合》

（806表示状態）

ＴＩＭＥスイッチを６回押す



10分を表示し、11…14､15分を表示



・アイドリング時間を表示します。
・アイドリング時間表示中にＴＩＭＥスイッチを１回づつ押す。
（アイドリング時間が１分単位で上がります）
・２秒間表示後、806 に戻ります。

数字表示とアイドリング時間

数字表示	100	200	300 …	900	10	11 …	19	20 …
アイドリング時間	１分	２分	３分 …	９分	10分	11分 …	19分	20分 …

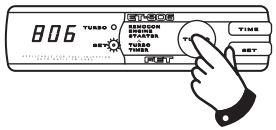
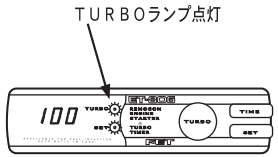
ターボタイマとしての使い方

設定方法

注 走行中のスイッチ操作はおやめ下さい。
前方不注意による事故発生の恐れがあります。

エンジンを始動させ、本体を表示させて下さい。

（806表示状態）

ＴＵＲＢＯスイッチを押す	アイドリング時間の表示
	 ターボタイマを受付しました

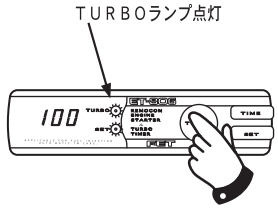
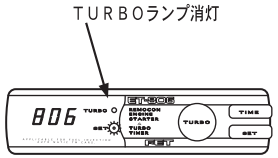
- エンジンキーをＯＦＦにすると１分間のアフターアイドリングをします。再度、エンジンを始動させると 100 を表示します。
- ターボタイマは、エンジンを始動し、５秒以上経過しないとアフターアイドリングしません。
- 『３、取扱上のご注意』を守り、ご使用下さい。

解除方法

注 走行中のスイッチ操作はおやめ下さい。
前方不注意による事故発生の恐れがあります。

エンジンを始動させ、本体を表示させて下さい。

（アイドリング時間表示状態）

ＴＵＲＢＯスイッチを押す	806表示
	 ターボタイマを解除しました

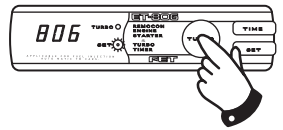
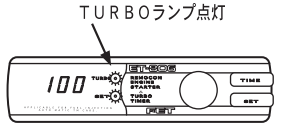
- エンジンキーをＯＦＦにするとそのまま停止します。再度、エンジンを始動させると 806 を表示します。

アイドリング時間の変更方法

注 走行中のスイッチ操作はおやめ下さい。
前方不注意による事故発生の恐れがあります。

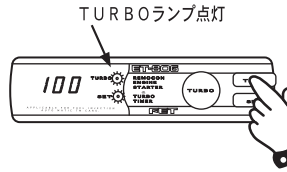
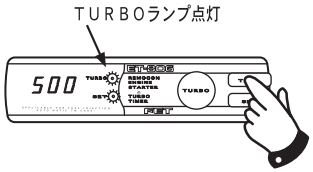
エンジンを指導させ、本体を表示させて下さい。

（806表示状態）

ＴＵＲＢＯスイッチを押す	１分を表示
	 ・アイドリング時間を表示します。（上図、１分の場合）

《例えば、１分のアイドリング時間を５分に変更する場合》

（100表示状態）

ＴＩＭＥスイッチを4回押す	２分➡３分➡４分➡５分を表示
	 ・アイドリング時間はスイッチを１回押す毎に１分単位で上がります。

数字表示とアイドリング時間

数字表示	100	200	300 …	900	10	11 …	19	20 …
アイドリング時間	１分	２分	３分 …	９分	10分	11分 …	19分	20分 …

取扱について

各種エラー内容

エンジンスタータ、ターボタイマが正常に動作しない場合、下記エラー表示をします。

故障、不良と思われる前に各種エラー表示と内容をご理解頂きご使用下さい。

表示内容	エラー名称	原　因	対　処　方　法
E	テストモードエラー	テストモード1でオートマチック判別出来ませんでした。	フットブレーキ線の配線を行ない、テストモード2の操作を行って下さい。
E1	テストモードエラー	テストモード1が正常に終わっていません。	もう一度、テストモード1から操作をして下さい。
E2	ボンネットエラー	ボンネットスイッチを受付ました。	ボンネットを閉め、ボンネットスイッチを２秒以上押して下さい。
E3	ブレーキエラー	フットブレーキを検出しました。	フットブレーキを受付けました。
E4	パーキングエラー	パーキングレンジ以外に入っています。	パーキングにして下さい。
E5	スターターエラー	エンジンがかかりませんでした。	始動検出方法をして下さい。
E6	バッテリーエラー	バッテリ電圧が10V以下になっています。	バッテリの点検を行って下さい。
E7	エンジンエラー	アフターアイドリング中に電圧が下がりました。	バッテリの点検を行って下さい。 （弱っていませんか？） バッテリに問題がない場合はA3(マニュアル検出)モードにしてオルタネータの配線を行って下さい。

リモコン

技術基準	RCR基準規格　テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	特定小電力　426MHz帯
通信方向	単方向通信　(F1D)
送信電力	1mW
送信時間	3秒以下
送信休止時間	2秒以上
送信コード	IDコード ＋コントロールコード
送信アンテナ	内臓アンテナ
動作温度範囲	−10℃〜+60℃
使用電池	リチウムCR1616　3個
定格電圧	9V
動作保証電圧	5.6V〜11V
送信機寸法	31×77×15.9mm
送信機重量	29g

本　体

受信アンテナ	1／4λ室内アンテナ
動作温度範囲	−20℃〜+70℃
定格電圧	12V
動作保証電圧	10V〜15V(但し、始動時は6V)
クランク時間	クランキング検出時　最大3秒
	マニュアル検出時　1.5秒(0.5〜3.0秒)
アイドリング時間	1分単位で20分(リモコンスタータ、ターボタイマ)
受信機寸法	97×101×28mm
受信機重量	257g